

— 腐蝕の旅路 —

中林忠良銅版画展

10/18 Fri.~11/20 Wed.

開催時間— 10:00~18:30 (入場は18:15まで)

(初日のみ 13:00~) 入場無料

主催—品川区・S 品川文化振興事業団

アーティストギャラリートーク (事前予約制・詳細は裏面)

【第一回】 10月26日(土)14:00~15:30 中林忠良による作品解説

【第二回】 11月1日(金)18:30~20:00 中林忠良と李美那氏によるクロストーク

会場—  美術館

品川区大崎1-6-2 大崎ニューシティ 2F TEL03-3495-4040
JR線・りんかい線大崎駅(北改札口・東口)下車徒歩1分
東急バス(大井町駅—渋谷駅)大崎駅下車徒歩1分

0 美術館では、品川区民芸術祭 2019 の企画展として、1937年東京府品川区大井山中町生まれの世界的銅版画家中林忠良の画業 60年余にわたる作品世界を紹介する展覧会を開催いたします。中林忠良は東京藝術大学絵画科油画専攻在学中の 1960年に集中講義で「版画」と出会いました。油絵とは全く異なる版画の世界に魅了されて以来、銅版画の主に腐蝕技法による表現手法を用いて制作研究を重ね、多くの優れた版画作品を発表。母校東京藝術大学をはじめ日本の美術大学に於ける版画研究、教育普及や多くの後進の指導に幅広く尽力・貢献しています。人間や自然に対しての深い洞察から生まれる詩情溢れるその作品画面は、理知的で文学的な香気に彩られ、作家自身の折々の思念の象徴として、モノクロームの奥深い世界に見る者を誘います。「囚われ」シリーズ全 16 点の同時公開やモノタイプによるカラー作品 8 点、未公開最新作を含む約 100 点の代表作を一堂に展示。その他、腐蝕銅版画の作品成立過程や素材・道具へのこだわり、そこから派生する社会的貢献や教育スタンス、印象派有縁のフランス渡来プレス機やミュージシャンのコーネリアス・小山田圭吾氏との関わりなど人間・中林忠良の存在が持つ多面的な魅力と影響力も併せて展示紹介いたします。



中林忠良 略歴

- 1937年 東京府品川区大井山中町に生まれる
- 1959年 東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻入学
- 1963年 東京藝術大学卒業、東京藝術大学大学院美術研究科版画専攻に入学
- 1965年 東京藝術大学大学院修了
- 1973年 第四回版画グランプリ展でグランプリ受賞
- 1975年 文部省派遣在外研究員としてパリ国立美術学校、ハンブルグ造形芸術大学で研修(～76年)
- 1986年 ソウル国際版画ビエンナーレ国際大賞受賞
- 1989年 東京藝術大学教授就任
- 2003年 紫綬褒章を受章
- 2014年 瑞宝中綬章を受章
- 現在 東京藝術大学名誉教授、大阪芸術大学客員教授、京都造形芸術大学客員教授、日本美術家連盟常任理事、日本版画協会理事

information!

アーティストギャラリートーク

【第一回】 10月26日(土)14:00~15:30

中林忠良による作品解説

【第二回】 11月1日(金)18:30~20:00

中林忠良と李美那氏(東京藝術大学大学院准教授)によるクロストーク

「腐蝕の内と外：制作の契機を聞く」

※両回とも定員 50 名・事前申し込み制。

電話・ファックス・メールにてご予約下さい。

☎ 03-3495-4040 Fax 03-3495-4192

メール oartmus@shinagawa-culture.or.jp

(住所・氏名・電話番号・参加希望日を明記)

※空きがある場合は当日受付いたします。

「囚われる日々 V」1974



品川区民芸術祭 2019 ㊦美術館 企画展

中林忠良銅版画展

—腐蝕の旅路—

10/18 Fri.~11/20 Wed.

開催時間— 10:00~18:30 (入場は 18:15 まで)

(初日のみ 13:00~) 入場無料

主催—品川区・S 品川文化振興事業団

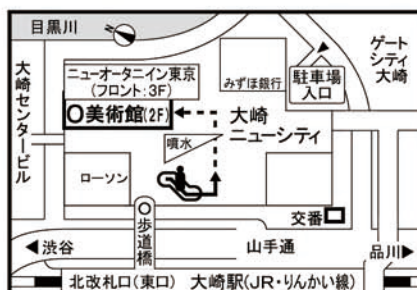
会場—㊦美術館

品川区大崎 1-6-2 大崎ニューシティ 2F TEL03-3495-4040

JR 線・りんかい線大崎駅(北改札口・東口)下車徒歩 1 分

東急バス(大井町駅—渋谷駅)大崎駅下車徒歩 1 分

企画展特設ページ http://www.shinagawa-culture.or.jp/o-art_2019



※〇歩道橋を渡り、エスカレーターで2Fへ降りて飲食店舗街奥



企画展特設ページアクセス QR コード